

ご来校いただければお分かりになるが、校内の感染防止体制は、考えられる全てを行ってある。「授業中の会話」「器物への接触」「手洗い・消毒」の指導・職員の共通理解も十分である。しかし、1年生の2回目の登校日…不安なのか上級生の手をしっかりと握って校門をくぐる。帰宅の時は、初めての友達と手を握る。上級生は頭をなでてやったり、肩を組んでやったりしている。この様子を見て「ハッ」とする自分がある。「手は握らないようにね」「お話するときにはもう少し離れてね」「お友達に触ったりしないでね」と口に出せない…。そもそも学校は人間関係をいかに「密」にするかに腐心してきた。我々教師も「学び合う・話し合う・遊び合う」ことができる子供を育てられるように訓練されている。

おいしい「とんこつラーメン」をつくるプロのオヤジさんが、店のオーナーの要求で「明日からは鮭も握って出せ！」と言われているようなものである。「やれと言われれば、握りますが…おいしくはないですよ。」まさにそんな感じである。